

新津高等学校 同窓会

発行者 新潟県立新津高等学校 同窓会
新潟市秋葉区秋葉1-19-1
電話(0250)22-1920(代)
同窓会長 石川 幸夫
責任者 石川 幸夫
印刷所 阿部印刷棟

御挨拶

新津高等学校同窓会

会長 石川 幸夫



三万余名の同窓生の皆様、お元気でいらっしゃいますか。皆様の日頃の母校と同窓会への御理解と御支援に心より御礼を申し上げます。

さて、母校は再来年二〇二二年に、創立一〇〇周年を迎えます。約一〇〇年の間母校は、教育関係、教職員、御父兄、生徒、皆様の情熱と努力、御支援により、地元高校として一人の道と勉学一に基き、理想的な教育機関の役割を果たし、三万余名の有為な人材を日本、世界に排出して参りました。

私共同窓会は、これを心より誇りとし、更に一〇〇年の節目を超えて、母校が永遠に存在、発展することを心から願うものであります。それらの思いも込めまして、二〇二二年十一月六日(土曜日)に、新津高校創立一〇〇周年記念式典を開催したいと考えております。是非皆様の御支援と御協力をお願いしたいと考えております。何卒宜しく御願ひ致します。

同窓会では、既に学校側の皆様と共に、一〇〇周年実行委員会を立ち上げ、今この一〇〇周年事業に対応しているところで、厳粛なる記念式典はもろろんの

退任の挨拶

名誉会長(校長) 志田 重道



今年もまた春がめぐって参りました。春は花開く華やかな時の上に、人生の別れと人生の出会いを持って参ります。別れはある意味で新しい出会いの始まりであり、また出会いはある意味で過去の別れから始まり、出会いと別れは表裏となり、人生を彩っていると思えます。このような中で今年三月、私共の母校の志田校長先生は、当校始まって以来の新津高校出身の校長先生として、母校に特別な思いを持って、色々なる改革、また改善に努力され、沢山の功績を残され、誠に誠に残念ですが勇退されました。心から志田校長先生に敬意と感謝を申し上げると共に、志田校長先生の新らしい人生に幸あれと心からお祈りいたします。

「年々歳々花相似、歳々年々人不同」(唐詩選)といいますが、宇宙と大自然の空間の中で、私達は限りある命を継承し続け時代をつむいでいくのであります。そして母校においても、今回の一〇〇周年記念事業を通して、いつまでも私達の子々孫々の命のつむぎを見守ってほしいと思えます。母校の今までの歴史を心から賞賛し、これからの発展を心より祈念するものであります。

同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。皆様には、日頃から、本校の教育活動に対する物心両面に渡ってのご支援に心より御礼申し上げます。

これは、同窓生皆様の今までの人生の中で一番印象に残った一冊の本(読んだ本でも新刊でも構いません)を五十字程度のメッセージと共に同窓会に届けて頂き、これを「一冊の本」同窓会のコーナーを作り、メッセージと共に図書館に常時設置したいと考えております。

皆様「一冊の本」は必ず学生の皆様の手に取られ、同じように感動を生むことでしよう。更にこの本は、新津高校が存在する限り図書館に在り、皆様の分身として永遠の命を持つことになると思えます。

具体的には一〇〇周年の事業支援と「一冊の本」を同窓会指定の場所に届けて頂くこととなります。その他、秋葉文化ホールを使用した一流アーティストによる、市民を含めた皆様への無料コンサートを考えております。更にもし予算が許せば、学校の備品等の要望に応えたいと考えております。日本一の我が新津高校は、どこにもなかった日本一の一〇〇周年記念式典を挙行したいと考えております。重ねて同窓生の皆様に物心

新任のご挨拶

新津高等学校

校長 渡辺 剛



さて、二〇二二年には創立百周年を迎えます。同窓会と保護者の皆様とが連携して準備を始めています。百周年の式典や事業を行うためには、県内の各支部や東京支部の皆様のお力添えがなくてはできません。重ねて皆様の御支援とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、生徒のことを第一として、全力で新津高校のために取り組ませていただきました。上手にできたことも少しはあり

また、新津高校では、更なる飛躍のために、授業の改善や「新しい入試制度」への対応、行事の見直し、制服改定などの取り組みを行っています。一昨年から、「総合的な学習の時間」(平成三十二年より「総合的な探究の時間」となります)の在り方を検討し、探究学習ができるように内容の改善を図りました。その概要については、ベネッセ教育総合研究所が発行している教育情報誌「VIEW21 8月号」に掲載されました。

本校のホームページにリンク先を掲載してありますのでご覧ください。また、平成三〇年度には、新潟県教育委員会から「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校に選定されました。この事業では、「大学進学を重視した学習型の高校」を

目指し、「より高い課題に挑戦し主体的に研究していく人材」(県や国のリーダー)として社会の様々な分野で活躍できる人材の育成のために取り組んでいます。

具体的には、①「探究型の学習」を体系的に取り入れる。②特進クラスの特色化を推進する。③生徒の活動成果を外に向けて発信することです。本校の取り組みの様子は「新潟県教育月報 三月号」に掲載されました。

過去4年間の志願者数は、秋葉区と三条市からは、

増加傾向にあります。秋葉区からの志願者数が、四年前から一〇九人、二六六人に増加しており、地域からの新津高校への期待の大きさを感ずりました。志願状況に少子化の影響があると思えますが、こちらも地元から愛される新津高校であってほしいと願っています。

また、新津高校では、更なる飛躍のために、授業の改善や「新しい入試制度」への対応、行事の見直し、制服改定などの取り組みを行っています。一昨年から、「総合的な学習の時間」(平成三十二年より「総合的な探究の時間」となります)の在り方を検討し、探究学習ができるように内容の改善を図りました。その概要については、ベネッセ教育総合研究所が発行している教育情報誌「VIEW21 8月号」に掲載されました。

本校のホームページにリンク先を掲載してありますのでご覧ください。また、平成三〇年度には、新潟県教育委員会から「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校に選定されました。この事業では、「大学進学を重視した学習型の高校」を

目指し、「より高い課題に挑戦し主体的に研究していく人材」(県や国のリーダー)として社会の様々な分野で活躍できる人材の育成のために取り組んでいます。

具体的には、①「探究型の学習」を体系的に取り入れる。②特進クラスの特色化を推進する。③生徒の活動成果を外に向けて発信することです。本校の取り組みの様子は「新潟県教育月報 三月号」に掲載されました。

過去4年間の志願者数は、秋葉区と三条市からは、

増加傾向にあります。秋葉区からの志願者数が、四年前から一〇九人、二六六人に増加しており、地域からの新津高校への期待の大きさを感ずりました。志願状況に少子化の影響があると思えますが、こちらも地元から愛される新津高校であってほしいと願っています。

また、新津高校では、更なる飛躍のために、授業の改善や「新しい入試制度」への対応、行事の見直し、制服改定などの取り組みを行っています。一昨年から、「総合的な学習の時間」(平成三十二年より「総合的な探究の時間」となります)の在り方を検討し、探究学習ができるように内容の改善を図りました。その概要については、ベネッセ教育総合研究所が発行している教育情報誌「VIEW21 8月号」に掲載されました。

本校のホームページにリンク先を掲載してありますのでご覧ください。また、平成三〇年度には、新潟県教育委員会から「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校に選定されました。この事業では、「大学進学を重視した学習型の高校」を

目指し、「より高い課題に挑戦し主体的に研究していく人材」(県や国のリーダー)として社会の様々な分野で活躍できる人材の育成のために取り組んでいます。

具体的には、①「探究型の学習」を体系的に取り入れる。②特進クラスの特色化を推進する。③生徒の活動成果を外に向けて発信することです。本校の取り組みの様子は「新潟県教育月報 三月号」に掲載されました。

過去4年間の志願者数は、秋葉区と三条市からは、

増加傾向にあります。秋葉区からの志願者数が、四年前から一〇九人、二六六人に増加しており、地域からの新津高校への期待の大きさを感ずりました。志願状況に少子化の影響があると思えますが、こちらも地元から愛される新津高校であってほしいと願っています。

道」の精神を体現してほしいと思えます。

二つ目は、人と人との出会いを大切にすることです。学校は、多くの人がいて成り立っています。同級生という同じ年齢の人との出会い、先輩後輩という年齢が異なる人との出会い、多くの先生方との出会い、たくさんの出会いの中で、人間関係を学んでほしいものです。

三つ目は、国際社会に貢献できる素養を身につけるということです。生徒には、グローバルな視点に立って思考し、地元新潟県を基盤としつつ、日本や世界の発展に貢献できる人間として育ってほしいと願っています。

生徒諸君が、これからの三年間の中で、明るく、たくましく成長し、夢を実現できる、学力・体力・しなやかな人間性を身につけて、そして、自分の大切さと、他の人の大切さを認め、協力して生きることができるようになってほしいと考えています。

これらの目標に向けて、生徒一人一人が、生き生きとした高校生活を送り、他の人を思いやる優しい心をもって、新津から世界に羽ばたき、存分に活躍していつてくれたら本望です。

折しも、世界のイチョロイがこの春引退を表明いたしました。彼が、残した名言は数多くありますが、自分の目標に対して非常にストイックな人であったことは有名です。今回国民栄誉賞の授与に対して三度目の引退をされたそうです。引退は、終わりでなく新しい始まりだからのこと。私も改めて自分の目標に向けて、自分自身を磨いていかなければならないという気持ちをおこしました。

我々教職員一同は、今後も新津高等学校の更なる発展のために精一杯取り組んで参りたいと思えます。同窓の皆様から、誇りに思っていただけのような学校づくりに教職員一同なお一層

鋭意努力いたしますので、今後とも、ご理解ご支援をいただけますよう、よろしくお願ひいたします。

また、新津高校では、更なる飛躍のために、授業の改善や「新しい入試制度」への対応、行事の見直し、制服改定などの取り組みを行っています。一昨年から、「総合的な学習の時間」(平成三十二年より「総合的な探究の時間」となります)の在り方を検討し、探究学習ができるように内容の改善を図りました。その概要については、ベネッセ教育総合研究所が発行している教育情報誌「VIEW21 8月号」に掲載されました。

本校のホームページにリンク先を掲載してありますのでご覧ください。また、平成三〇年度には、新潟県教育委員会から「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校に選定されました。この事業では、「大学進学を重視した学習型の高校」を

目指し、「より高い課題に挑戦し主体的に研究していく人材」(県や国のリーダー)として社会の様々な分野で活躍できる人材の育成のために取り組んでいます。

具体的には、①「探究型の学習」を体系的に取り入れる。②特進クラスの特色化を推進する。③生徒の活動成果を外に向けて発信することです。本校の取り組みの様子は「新潟県教育月報 三月号」に掲載されました。

過去4年間の志願者数は、秋葉区と三条市からは、

増加傾向にあります。秋葉区からの志願者数が、四年前から一〇九人、二六六人に増加しており、地域からの新津高校への期待の大きさを感ずりました。志願状況に少子化の影響があると思えますが、こちらも地元から愛される新津高校であってほしいと願っています。

また、新津高校では、更なる飛躍のために、授業の改善や「新しい入試制度」への対応、行事の見直し、制服改定などの取り組みを行っています。一昨年から、「総合的な学習の時間」(平成三十二年より「総合的な探究の時間」となります)の在り方を検討し、探究学習ができるように内容の改善を図りました。その概要については、ベネッセ教育総合研究所が発行している教育情報誌「VIEW21 8月号」に掲載されました。

本校のホームページにリンク先を掲載してありますのでご覧ください。また、平成三〇年度には、新潟県教育委員会から「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校に選定されました。この事業では、「大学進学を重視した学習型の高校」を

目指し、「より高い課題に挑戦し主体的に研究していく人材」(県や国のリーダー)として社会の様々な分野で活躍できる人材の育成のために取り組んでいます。

具体的には、①「探究型の学習」を体系的に取り入れる。②特進クラスの特色化を推進する。③生徒の活動成果を外に向けて発信することです。本校の取り組みの様子は「新潟県教育月報 三月号」に掲載されました。

過去4年間の志願者数は、秋葉区と三条市からは、

増加傾向にあります。秋葉区からの志願者数が、四年前から一〇九人、二六六人に増加しており、地域からの新津高校への期待の大きさを感ずりました。志願状況に少子化の影響があると思えますが、こちらも地元から愛される新津高校であってほしいと願っています。

また、新津高校では、更なる飛躍のために、授業の改善や「新しい入試制度」への対応、行事の見直し、制服改定などの取り組みを行っています。一昨年から、「総合的な学習の時間」(平成三十二年より「総合的な探究の時間」となります)の在り方を検討し、探究学習ができるように内容の改善を図りました。その概要については、ベネッセ教育総合研究所が発行している教育情報誌「VIEW21 8月号」に掲載されました。

本校のホームページにリンク先を掲載してありますのでご覧ください。また、平成三〇年度には、新潟県教育委員会から「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校に選定されました。この事業では、「大学進学を重視した学習型の高校」を

目指し、「より高い課題に挑戦し主体的に研究していく人材」(県や国のリーダー)として社会の様々な分野で活躍できる人材の育成のために取り組んでいます。

具体的には、①「探究型の学習」を体系的に取り入れる。②特進クラスの特色化を推進する。③生徒の活動成果を外に向けて発信することです。本校の取り組みの様子は「新潟県教育月報 三月号」に掲載されました。

過去4年間の志願者数は、秋葉区と三条市からは、

増加傾向にあります。秋葉区からの志願者数が、四年前から一〇九人、二六六人に増加しており、地域からの新津高校への期待の大きさを感ずりました。志願状況に少子化の影響があると思えますが、こちらも地元から愛される新津高校であってほしいと願っています。

また、新津高校では、更なる飛躍のために、授業の改善や「新しい入試制度」への対応、行事の見直し、制服改定などの取り組みを行っています。一昨年から、「総合的な学習の時間」(平成三十二年より「総合的な探究の時間」となります)の在り方を検討し、探究学習ができるように内容の改善を図りました。その概要については、ベネッセ教育総合研究所が発行している教育情報誌「VIEW21 8月号」に掲載されました。

本校のホームページにリンク先を掲載してありますのでご覧ください。また、平成三〇年度には、新潟県教育委員会から「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校に選定されました。この事業では、「大学進学を重視した学習型の高校」を

目指し、「より高い課題に挑戦し主体的に研究していく人材」(県や国のリーダー)として社会の様々な分野で活躍できる人材の育成のために取り組んでいます。

具体的には、①「探究型の学習」を体系的に取り入れる。②特進クラスの特色化を推進する。③生徒の活動成果を外に向けて発信することです。本校の取り組みの様子は「新潟県教育月報 三月号」に掲載されました。

過去4年間の志願者数は、秋葉区と三条市からは、

増加傾向にあります。秋葉区からの志願者数が、四年前から一〇九人、二六六人に増加しており、地域からの新津高校への期待の大きさを感ずりました。志願状況に少子化の影響があると思えますが、こちらも地元から愛される新津高校であってほしいと願っています。

また、新津高校では、更なる飛躍のために、授業の改善や「新しい入試制度」への対応、行事の見直し、制服改定などの取り組みを行っています。一昨年から、「総合的な学習の時間」(平成三十二年より「総合的な探究の時間」となります)の在り方を検討し、探究学習ができるように内容の改善を図りました。その概要については、ベネッセ教育総合研究所が発行している教育情報誌「VIEW21 8月号」に掲載されました。

本校のホームページにリンク先を掲載してありますのでご覧ください。また、平成三〇年度には、新潟県教育委員会から「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校に選定されました。この事業では、「大学進学を重視した学習型の高校」を

目指し、「より高い課題に挑戦し主体的に研究していく人材」(県や国のリーダー)として社会の様々な分野で活躍できる人材の育成のために取り組んでいます。

具体的には、①「探究型の学習」を体系的に取り入れる。②特進クラスの特色化を推進する。③生徒の活動成果を外に向けて発信することです。本校の取り組みの様子は「新潟県教育月報 三月号」に掲載されました。

過去4年間の志願者数は、秋葉区と三条市からは、

増加傾向にあります。秋葉区からの志願者数が、四年前から一〇九人、二六六人に増加しており、地域からの新津高校への期待の大きさを感ずりました。志願状況に少子化の影響があると思えますが、こちらも地元から愛される新津高校であってほしいと願っています。

また、新津高校では、更なる飛躍のために、授業の改善や「新しい入試制度」への対応、行事の見直し、制服改定などの取り組みを行っています。一昨年から、「総合的な学習の時間」(平成三十二年より「総合的な探究の時間」となります)の在り方を検討し、探究学習ができるように内容の改善を図りました。その概要については、ベネッセ教育総合研究所が発行している教育情報誌「VIEW21 8月号」に掲載されました。

本校のホームページにリンク先を掲載してありますのでご覧ください。また、平成三〇年度には、新潟県教育委員会から「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校に選定されました。この事業では、「大学進学を重視した学習型の高校」を

令和元年度 同窓会役員(案)

名誉会長

渡辺 剛 (校長)

会長

石川 幸夫 (高18)

副会長

桂 佑誠 (高15)

上田 茂樹 (高18)

阿部 周夫 (高35)

審議員

田部 一男 (高21)

川名 一弘 (高22)

高橋 健朗 (高46)

会計監査委員

青野 寛一 (高16)

坂爪 一郎 (高26)

新潟支部長

上田 茂樹 (高18)

新発田支部長

井上 雅 (高19)

五泉支部長

芹澤 一夫 (高17)

村松支部長

安中 守 (高31)

東浦原支部長

坂井 政博 (高18)

東京支部長

桂 佑誠 (高15)

新潟支部 幹事

金田智恵子 (高9)

細矢 敏彦 (高13)

横山 道夫 (高15)

宮崎 直樹 (高17)

栗原 一俊 (高19)

戸井 恒夫 (高24)

斎藤 瑞穂 (高25)

新発田支部 幹事

岸 幸夫 (高17)

宇田 勝久 (高20)

佐久間謙一 (高31)

石本 修也 (高31)

五泉支部 幹事

岸 幸夫 (高17)

宇田 勝久 (高20)

佐久間謙一 (高31)

石本 修也 (高31)

広沢 真美 (高34)

五十嵐千花 (高38)

木村 道雄 (高38)

鈴木 紀夫 (高41)

関塚 政行 (高41)

鶴巻 正一 (高24)

樋口 隆 (高24)

樋野 尚 (高25)

今井 常裕 (高31)

近藤 隆 (高32)

東浦原支部 幹事

江川 トイ (高19)

猪俣 茂 (高21)

波多野久男 (高22)

齋藤 修平 (高26)

長谷川栄一郎 (高28)

東京支部 幹事

榎 脩一 (高7)

宮崎 徳男 (高10)

石月 仁 (高18)

五十嵐恵美子 (高13)

島中津子 (高13)

鶴川 勉 (高16)

辰喜 一宏 (高39)

校内幹事

本間 健一 (高29)

増井 治 (高31)

永井 啓介 (高32)

佐藤 俊 (高46)

総会で役員変更がなされる場合があります。

平成30年度 上位大会へ進出した部

(同窓会では、県大会より上位の大会に出場した母校の部に対して激励費をお渡ししています。)

- 少林寺拳法部 (平成30年6月) 塩尻市
 - 北信越高等学校体育大会少林寺拳法競技 (男子単独演武 優勝 女子組演武 3位 新人男子組演武 3位)
 - 3年 宮北 樹 (男子単独演武優勝)
 - 須藤 楓・熊倉 彩花 (女子組演武3位)
 - 1年 渡邊 人太・滝沢 翔 (男子組演武3位)
- 弓道部 (平成30年6月) 射水市
 - 第47回北信越高等学校弓道大会 (男子団体戦2位 個人女子3位)
 - 3年 五十嵐勇気・中野 真聡・西野 裕太・岩本 洋太
 - 2年 鈴木 良基・梅津 有哉 (男子団体2位)
 - 3年 馬場 琴音 (女子個人3位)
- 水泳同好会 (平成30年7月) 敦賀市
 - 第51回北信越高等学校選手権大会水泳競技会 (女子平泳ぎ100m 6位 女子平泳ぎ200m 6位、8位)
 - 3年 田邊夏津樹 (100m 6位、200m 6位)
 - 2年 渡邊 真白 (200m 8位)
- 少林寺拳法部 (平成30年8月) 西尾市
 - 平成30年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会 (男子単独演武優勝)
 - 3年 宮北 樹
- 書道部 (平成30年8月) 松本市
 - 第42回全国高等学校総合文化祭
 - 3年 落合 和音
- 吹奏楽部 (平成30年3月) 前橋市
 - 第24回西関東吹奏楽コンクール (高等学校Bの部金賞)
 - 3年 巖 彩華・鶴川 侑己・小野寺 涼・小原 千歩・犬飼すみれ 大江 萌望・小林 咲恵・大泉ひなた・中川日佳理・中山 芽依 西田 真稀・山口 彩華・鈴木 里奈・中村 竜馬
 - 2年 青木 綾香・上田帆乃果・熊倉 有愛・横尾 愛梨・有川 愛佳 木伏 桃子・早川 和花・皆木 智佳・山下 莉央・桐生 遥可 佐野 公香・鈴木 歩花
 - 1年 大澤 佑佳・豊島ちあき・加藤向日葵・中丸千香子・藤原 優多 倉橋 歩望・齋藤 桃夏・笹井梨々花・高橋 育実・久保田墨依 近藤 優菜・斉藤 愛佳・本田 真琳・武藤絵梨花・盛山 冬陽 小林日菜乃・藤田 遥・吉川 李未・渡邊ちはる
- 陸上部 (平成30年10月) 松本市
 - 第23回高等学校新人陸上競技大会 (男子3000m障害4位)
 - 2年 松本 圭
- 少林寺拳法部 (平成31年3月) 善通寺市
 - 第22回全国高等学校少林寺拳法競技会
 - 1年 滝沢 翔・渡邊 人太
- 理科部 (平成31年2月) 上越市
 - 第6回北信越地区高等学校自然科学研究会発表会
 - 2年 橋本昂之助・中川 貴偉

母校だより

同窓会入会挨拶

平成三十年 学年幹事

中村 竜馬



この度、同窓会学年幹事を務めさせていただきましたことになりました。中村竜馬です。私たちの学年は同窓会に入会する平成最後の学年になるでしょうから、私の立場も平成最後の学年幹事というところで、特別何かあるわけでもないのに妙な興奮を感じています。

新津高校生としての三年間は、本当にあつという間でした。しかし、この三年間でずいぶんたくさんの経験をしたこと

も、私の頭と心にしつかりと残っています。時の流れが早く、得たものは大きく感じられるという事は、つまり私の高校生活は充実していたのだと思います。そして、私たち平成三十年卒業生の多くが、私と同様の感情を持っていて、ではないかと信じています。

さて、この充実した三年間を振り返り、私はしきりに唱えられていた、ある言葉を思い浮かべます。それは「新津高校生としての誇り」という言葉です。このフレーズは様々なニュアンスを含んでいて、「誇り」が「伝統」や「ブランド」などと言

い換えられることもありましたが、それらの意味するところは大きくは変わらないでしょう。しかし、これらは一体何を指すんだらうかと、私は分りかねていました。学業か、部活動か、もつと別のものなのか、そもそもいつ、誰がそんなものを決めたのだろうか。これらの問いは、私の心の片隅を、ひっそりと占有していましたが、いま私は、ひとつの答えを見出したような気がします。

それは、何万もの卒業生の皆様に對し失礼であるかもしれないが、つまり確固たる「誇り」などではなく、新津高校生が「誇り」だと思ふものが「誇り」なのではないでしょうか。誰も決める人がいないからこそ、自分の誇りは自分で決めるのです。したがって先述の言葉には、自らを誇れるよう行動せよ、という意味が込められているのではないのでしょうか。

進学状況

冒頭、私たちの学年は平成最後に同窓会に入会する学年であると述べました。しかし、やはりそれは時代の区切りの一つに過ぎず、新津高校とこの「誇り」はこれからも、来たる世代へ委ねられていきます。私たちは卒業生としてその一助をするとともに、新津高校同窓会員としての「誇り」を胸に、これから様々な場面で力を発揮していく所存です。どうぞよろしくお願ひします。

今年度は、七クラス(二六九名)が卒業していきました。国公立大学の受験結果は、合格実人数が四九名(一八%)であり、昨年度の二九%を下回り、合格延べ数でも五八名(昨年度八八名)とかなり厳しい結果となりました。この学年は、早い段階から私立大学にシフトした生徒が多くなり、センター試験の国公立型の受験者が一九二名と例年より三〇名以上減少したことが大きな原因として上げられます。一方難関国公立大学では、北海道大学・東北大学・東京工業大学・東京外国語大学・筑波大学・京都大学など、多くの大学に果敢にチャレンジしました。結果は北海道大学と東北大学に二名が進学しました。少し残念な結果ではありましたが、上位層が健闘

したとも言えます。また、県内では新潟大学一五名、新潟県立大学一名、新潟県立看護大学一名が進学しました。

私立大学は、昨年に続き入学定員の厳格化(合格者の絞り込み)の影響が大きく、延べ合格者数で四〇減少しました。特に中堅私立大学(日東駒専および大東亜帝国)の合格者は、昨年の半分程度にとどまりました。一方で、難関私立大学(早慶上理、MARCH、関関同立)は、例年並みの一二名が合格することができました。

センター試験の全国平均点は、文系理系ともに易化し、昨年度より一五点ほど上昇しました。得点分布で、八割以上の層が昨年より増加したことで、難関国公立大学はほとんどの受験生が志望校を変更することなく受験して、二次試験(記述)の勝負となりました。センター試験の結果は国公立大学のスタートラインではないことが改めて実感できた年でした。

本校では、「受験は合格が終着点ではない。大学等入学後の自分のために卒業まで続けるもの」、「自分の夢は最後まで諦めない」と指導しています。多くの生徒がこの指導を真摯に受け止めて、三年間努力を重ねてきています。結果はまだ十分とは言えませんが、生徒とともに頑張りたいと思います。

進路指導部長
齋藤 恭広

新津高等学校 同窓会総会

【2019年度 新潟大会のご案内】

日時：2019年6月16日 (第3日曜日)
総会 11:30~12:15
懇親会 12:30~15:30

会場：新潟グランドホテル 5階
 新潟市中央区下大川前通
 TEL 025-228-6111

会費：6,000円

申込期日：2019年5月31日

◎各支部単位で人数、参加者名を別紙にとりまとめの上、新津高等学校同窓会事務局又は新津高校同窓会新潟支部まで郵送又はFAX、メール等してください。

- ・新津高校同窓会事務局
新潟市秋葉区1-19-1 校内幹事 佐藤先生
TEL：0250-22-1920 FAX：0250-24-6340
- ・同窓会新潟支部
〒950-2055 新潟市西区寺尾3-4-19 上田 茂樹
TEL：090-2016-3915 Email：rsueda222@yahoo.co.jp

本校卒業生の上級学校進学状況

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
在席	314	312	279	316	315	275	279	269	275	272	269
(クラス数)	(8)	(8)	(7)	(8)	(8)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)
大 学	国公立	89	68	66	98	79	98	83	72	67	49
	のべ合格数	97	72	75	113	89	121	103	88	82	58
短 大	国公立	2	1	2	0	0	2	1	1	0	1
	私 立	138	147	143	137	147	120	128	147	154	150
大学短大計	258	225	217	249	235	232	221	229	230	218	218
進学率 (%)	80.0	72.1	77.8	78.8	74.6	84.4	79.2	85.1	83.6	80.1	77.3
専門学校	21	26	29	34	32	28	25	25	26	22	28
合 計	279	251	246	283	267	260	246	254	256	240	240

就職状況

性別	男	女	計
就職希望者	1	1	2
決 定 者	1	1	2

<合格大学>

新潟大14 山形大5 上越教育大2 北海道大1 弘前大1 東北大1 秋田大1 群馬大1 千葉大1 電気通信大1 信州大1 国立看護大学校2(文部科学省管轄外大学校)

新潟県立大11 秋田県立大4 首都大東京2 福井県立大2 長野大2 釧路公立大1 青森公立大1 宮城大1 新潟県立看護大1 山梨県立大1 長野県立大1 静岡文化芸大1 島根県立大1

新潟医療福祉大35 新潟薬大17 新潟青陵大17 新潟国際情報大16 新潟経営大14 敬和学園大10 新潟工科大5 新潟食料農業大3 新潟産大2 長岡大1 新潟リハビリ大1 長岡崇徳大1

日本大21 東京農大15 千葉工大10 帝京大9 神奈川大9 金沢工大9 大東文化大7 東海大6 専修大4 中央大4 東洋大4 法政大4 高崎健康福祉大3 文教大3 成蹊大3 東京家政大3 東京理大3 関東学院大3 大谷大3 亜細亜大2 北里大2 芝浦工大2 東京電機大2 東邦大2 武蔵野大2 立命館大2 東北学院大1 桜美林大1 大妻女子大1 工学院大1 駒澤大1 東京女子大1 東京女子体育大1 日本女子体育大1 日本体育大1 明治大1 明治学院大1 同志社大1 龍谷大1 他

創立100周年記念式典

2021年11月6日(土)
会場：新津高等学校体育館

同窓会企画 「1冊の本」

創立100周年の企画の一環として、同窓生の皆様から思い出の1冊を寄贈していただきたいと考えています。「心に残った1冊の本」など、エピソードを添えて寄贈してください。図書館に寄贈していただいた本のコーナーを新たに設置したいと考えています。

送付先：〒956-0832 新潟市秋葉区秋葉 1-19-1 新津高等学校同窓会

活躍する同窓生たち

建設業に貢献を

庄司 利治



同窓の方々に、こんにちは！卒業後、ゼネコン一筋で、十一年前に関連会社に転職して、今日に至っております。

シオン等の建設現場へ重量鋼材を三十トンのトローラーで搬入搬出する請負業務で、社員には毎年あたり「猪突猛進」ではなく、視野を広げての安全運転と安全作業をするようにお願いし、取り組んでおります。

① 現場で立会いのバートルを実施
安全については、転落と挟まれや重機との接触をしないように監視と声かけを。

② 品質管理
品質については、製品を汚さないこと。ルールを守ること。マナーを守ること。

③ 安全会議
安全会議で事業主からの指示事項について周知をはかり、事故を起こさないように徹底を。現場で朝礼での安全講話

④ 現場で朝礼での安全講話
事業主として現場でもしるおかしく安全講話をする。ヒューマンエラーの防止について。...

⑤ 雨降っても強風
社員の健康管理については、雨が降っても強風

⑥ 災害防止、協議会へ参加
災害防止、協議会へ参加

潜水艦こぼれ話

田村 力



平成二十六年春、長年住み慣れた横浜から四十七年ぶりに新津の実家に戻り、九十六歳になる母と同居し落ち着いた日々を送っています。

新津高校から防衛大学に進み、卒業後は海上自衛官として三十五年間概ね潜水艦に係わって勤務して来ました。潜水艦乗りとして長年勤務する間に様々な事故や出来事を体験しましたが、最も

強く印象に残っているのが「P3-Cシヨック」です。それは昭和五十年代の終りに、米軍から対潜哨戒機P3-Cが導入された際に起きました。

それ以前の演習では、対潜哨戒機と潜水艦は、ほぼ互角の闘いをしていました。ところがP3-Cは音響ブイで探知した音を周波数分析するといいう新手法を採用したため、潜水艦は気がつかないうちに特徴のある音紋を捉えられ、何の前触れもなく次々に攻撃を受け全滅状態となりました。一種の技術的奇襲を受けたわけであり、潜水艦乗りの間で大きな衝撃が走り悲観論も出ましたが、これにめげることなく背

水の陣で、わが潜水艦の本格的な雑音低減が開始されました。船体・機関・プロペラ・各機器・管係・部品・音の伝達経路や船体開口部と海水の摩擦による流体力学的雑音等に至るまで徹底した調査研究と地道な対策が続けられた結果、今日では世界のトップレベルの静粛な潜水艦になりました。この三十年にわたる潜水艦の雑音低減対策は、運用者と技術者・官と民・民と民の協力と切磋琢磨により成功した事例として大変誇りに思っています。

平成十八年に退官しましたが、かつて私が艦長を務めた「あきしお」という潜水艦が除籍後、平成十九年に広島県呉市に

おいて、教育広報用史料館「愛称「てつ」のくじら館」として陸揚げ展示されました。通常国有財産である艦船は耐用年数となり除籍されると、スクラップとなつてこの世から消え去る運命にあります。八十余名の乗組員とともに一運托生の運命共同体であった愛艦が半永久的に保存展示されることは、広く国民の皆様は潜水艦を理解していただくだけでなく、自分達の足跡を振り返り思い出す縁が残されていることであり、ありがたいと思っております。隣接する呉市海事歴史学館「大和ミュージアム」(戦艦大和の1/10模型展示)とともに、人気スポット

でも仕事をやりとげるブルーカラーの仕事は体が資本。常に体調管理をしつかりやることを社員に指示し、帰社時の点呼で確認を、また夜間作業については注意喚起しています。

希望を持ってスタートし、夕は今日一日怪我もなく事故もなかったことに感謝をして。...

活動報告は、ここまで(千葉東船橋市在住) 第十一回卒 昭和三十四年

希望を持ってスタートし、夕は今日一日怪我もなく事故もなかったことに感謝をして。...



新潟県が元気になるように

澤野 修



私は津川町長を二期務めた後、平成十二年から県議会議員となり、昨年七月、第九十六代の県議会議長に就任いたしました。私が政治を志したのは三十年ほど前に聞いた、東蒲原郡に高速道路が走るという話がきっかけでした。高速道路ができれば東蒲原郡に新しい時代が来る、その新しい時代に合わせて町政運営にも新しい発想が必要ということに推され、町長選に出馬したのです。

当時は、県外の人は津川という地名を知りません。知っている人がいても過疎地域、新潟水俣病という暗いイメージしか持たれていなかったの

として年間三十万人以上の見学者を集め活況を呈しています。潜水艦隊は、安全保障環境の大きな変化を受け、現在十六隻体制から二十二隻体制へと移行の真っ最中です。後輩の皆さんの奮闘ぶりが眼に浮かびますが、OBの一人として円滑な移行が実現できるよう祈念し応援しているところです。

(新潟市在住) 第十八回卒 昭和四十一年



で、地域が元気になり、良いイメージを持つてもらえる方策を考えました。そこで始めたのが「つがわ狐の嫁入り行列」です。毎年恒例行事となり、地域活性化、津川町のPRに貢献できたと思っております。

その後は県議会議員として、新津高校の大先輩である高橋正さんや同期である目黒正文さんらとともに、東蒲原郡をはじめ、中山間地や過疎地が多く、少子高齢化が進む新潟県が、どうすれば元気になれるだろうかかと考えながら活動してきました。

この原稿を作成しているのは二月定例県議会の真つ最中であり、新年度の県予算案を審議しているところでもあります。花角知事が目指す「任んでよし、訪れてよしの新潟県」を実現できる予算案になっているかどうか、議場で熱心な議論が交わされています。

近い将来、新津高校同窓生から新たな県議会議員が誕生し、新潟県を元気にするための議論に加わっていただけることを期待しています。(阿賀町在住) 第二十回卒 昭和四十三年

「ありがとう」と思うこと 八木 克夫



つい先日野球部の同級生と集まる機会をもらいました。集合を掛けてくれた大島君、ありがとう。二、三年ぶりの集合になったと思いますが皆さんの思い出をくれた仲間たちの中でも多くの時間を過ごした部活の仲間たちはまた特別な存在だと今更ながらに思わせて

くれる時間を過ごせました。朝練、放課後練習、居残り練習、土曜、日曜、合宿、遠征、春、夏、秋、冬と思えばほぼほぼ野球づけでした。決して目立った成績を残したチームではなかったけれど監督の熱意、マネージャーに助けてもらって十分に野球ができたと思える三年間が自分の中にはしっかりとあります。

同窓会報に寄せて

水戸 伊智郎



この度、同窓会報への寄稿機会をいただいたことをきっかけに、私が高校時代に学び、かつ今に活かしていることを真剣に考えてみました。いくつも浮かびましたが、紙幅の関係で二つに絞りました。

「環境が人を変える」 私は、五泉市(しかも

先輩から認められた嬉しさと責任感がこみ上げました。あれこれ悩み過ぎ、十七歳にして十二指腸潰瘍にもなりましたが、引退時に皆から「立派な主将だった」と言ってもらえ、涙が出ました。

立場によって人間が変わることを初めて実感した瞬間でした。そんな私は今、生まれ育った五泉市で、社会保険労務士事務所を営んでいます。

関与先企業の経営者には、新津高校同窓生が思いのほかに多く、今もなお新津高校に感謝せざるを得ません。事業経営は良いことば

色んな人の色んな価値観を見て、聞いて学ばせてもらえました。今は地元で商売に携らせて頂くことでまだまだ新しい出会いがあり新しいチャレンジの機会を頂くことがあります。この度の機会もそうですが(笑)

若輩ですが商売は人と人とのコミュニケーションの上に物の売り買いが成り立っていると思われれることが多く一度の機会が常に新しいチャレンジだと思えます。

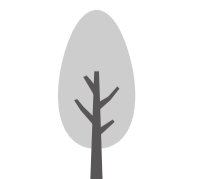
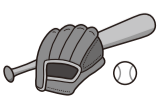
その度に野球部で、高校生活で得たことが間違いない活かされていて「ありがとう」と思うのです。

(五泉市在住) 第四十五回卒 平成五年

からではなく、厳しい局面も度々訪れます。しかし、そんなときこそ自分が成長できるチャンスなのだと思うのは、新津高校での学びがあったからだと感じます。

いつの時代にあつても、新津高校は全ての生徒達にとって学びの場であつて欲しいと思います。

(五泉市在住) 第四十六回卒 平成六年



支部だより

新潟支部

支部長 上田茂樹

新潟高校同窓会並に新潟支部の皆様、お元気で活躍のことと思います。日頃より皆様の同窓会へのご理解、ご支援に感謝申し上げます。

さて、昨年も、各界での同窓生の活躍が目についたところ。中でも澤野修さん(S四十三卒)の第九十六代県議会議長の就任と中田ドラゴンの笠原祥太郎さん(H二十五卒)の活躍が、記憶に残るところではないでしょうか。お二人をはじめ同窓生のさらなるご活躍をご祈念申し上げます。

◎新潟支部総会開催
新潟支部総会は、二年に一度開催しており、昨年十一月に石川会長をお迎えし開催されました。昨年は役員改選の年であり、かなりの役員が交代し若返りが図られました。支部長の横山道夫さん並びに今回役員を完全退任された理事の横山道夫さん、副支部長の横山道夫さん、会計部長の中野進さん、会計監事の土屋邦夫さんには、これまで十年以上の長きにわたり役員を務めていただき誠にありがとうございました。本当にお疲れ様でした。そして、誠に残念なことですが、中野さんにおかれましては、昨年十二月に急逝なさいました心よりご冥福をお祈り申し上げます。

東蒲原支部

支部長 坂井政博

今年の冬は暖冬小雪というので例年に比べて雪が大変少なく、比較的穏やかに過ごすことができました。また、JR磐越西線は運休や遅れがほとんどなかったため、在校生は安心して安全に通学できたことと思います。

東蒲原支部は平成九年五月に発足して以来、今年で二十三年目を迎えました。阿賀町に在任している支部会員の皆様は百二十名余りになりました。昨年の支部活動として東蒲原支部懇談会を八月二十四日、きり山温泉「古澤屋」で開催し、九名が参加して盛大に行われました。世代間をこえて交流と親睦を図るため、今後は若い会員や中堅会員、女性会員からも参加してもらえ、ような開催時期や時間、事業内容をさらに検討していきたいです。どうぞ多くの支部会員の皆様方からのご参加をお願いいたします。

◎今年の支部活動
各支部並びに本部持ち回りで毎年開催している同窓会総会、今年も新潟支部が主管することとなっております。これまでの同窓会新潟大会は、毎回一〇〇名以上の会員が参加しております。今年もこれまで以上の参加を期待しております。これまでに参加いただいた方、是非未参加のお友達をお誘いのうえ今回もご参加をお願いいたします。楽しく、思い出に残る新潟大会になるようアトラクション、懇親会も予定しております。交通の便の良い新潟での総会ですので、部のOB会、クラス会の一斉会としてご利用いただければ、懇親会も盛り上がる

村松支部

支部長 安中守

新潟高校同窓生、村松支部の皆様お元気ですか。二〇一八年は、夏の猛暑、冬の豪雪で異常とも言える気候でした。二〇一九年は比較的少雪で過ごしやすいかと思っております。皆様もお身に気をつけてお過ごし下さい。

昨年度の総会は五泉支部主催でオーブニングから盛大に行われ、楽しい時間を過ごさせてくださいました。大変御苦労様でした。村松支部では、ゲストのなほみあきさんの恩師だった元教員の方や東京からはるばる来ていただいた方など、九名の出席をいただきました。今年度は新潟支部主催で行われます。村松支

部からも多勢の出席をお願いいたします。是非ご連絡下さい。さて今年の五月から新年号に変わります。この同窓会報が皆さんの手に届く頃には新年号が決定していると思っておりますが、年号が何であるかとこれからは新潟、日本、全世界が平和であることを願います。村松支部の平成を少し振り返ると、一九八九年(元年)から村松のキャッチフレーズ「桜藩(さくらんどう)」が使われたようです。城下町村松(三万石)にちなんだもので町の色々なイベントで使われて

◎東京支部
支部長 桂佑誠
同窓会の皆様お元気で過ごしていること存じます。二年に一回開催の総会と総会の端境期に当り休眠状態の感があるのをお認めません。その中で、恒例のハイキングを今年も実施しました。前回の藪をかき分けての登攀がきつかったのか、平らなところを歩くことになり、お江戸日本橋を八時に集合し浅草を経て千住大橋まで八時間三万歩を十名全員無事に完歩し、そのまま力ラオケで盛り上がったと聞きました。

五泉支部

支部長 芹澤一夫

五泉支部同窓生会員相互の情報交換並びに親睦を深める事で皆さんから大いに御協力頂き有難うございます。

昨年六月の総会「五泉大会」が無事終了出来ました事、心から感謝申し上げます。

五泉支部からの参加者は三五名の出席で、大会運営に多大の協力を賜りました。本紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

「このシーズンで自信を持って。自分に足りない所を強くして、チームの柱になって活躍したい。」とのことでした。今年の九月三日に中日対巨人戦が新潟で行われます。ここで凱旋登板をしてくれると期待しています。昨年一月五日に母校同期の菜々美さんと婚姻届を出した笠原選手は、この激励会の六日後の十二月二十九日に結婚式を挙げました。家庭も充実し、益々の活躍を期待しています。同窓の皆さんの応援、宜しくお願いいたします。

笠原祥太郎選手の激励会

渡邊良元

野球部OB会が開催する激励会は、三年前のプロ野球中日ドラゴンズへ入団が決まった年末に第一回をOBのみで執り行い、翌年プロ一年目のシーズンで、一軍に昇格し初勝利を挙げた一昨年の年末に第二回をOBと一般の方で開催し、プロ二年目の昨年は、スタートで躓いたものの、中盤からは素晴らしい活躍を見せてくれました。中でも今年から大リーグに移った菊池雄星投手との気迫あふれた投げ合いや、リーグ優勝の広島から完封勝利を挙げるとし、六口通算では七勝七敗の

激励会を昨年末に執り行いました。新潟県警の栗原良光生活安全部長(昭和五十二年卒野球部OB)から特殊詐欺撲滅大使を任命されたり、テレビ出演など多忙の中、出席してくれました。OBを含む八十五名参加の内、四割近くが子供さんを含む一般の方でした。今回の司会には、笠原選手と母校同期でNSTの井上綾夏アナウンサーに御願いたしましたところ、快く引き受けていただき、会を大いに盛り上げてもらいました。挨拶が終わるや否や多くの方が笠原選手の周りに詰めかけ、休む暇もないくらいでしたが、お子さんから年配の方まで、優しく接して声を掛けてくれました。最後に校歌を歌いエールを送って閉会しました。笠原選手は、今年への決意表明では、

「このシーズンで自信を持って。自分に足りない所を強くして、チームの柱になって活躍したい。」とのことでした。今年の九月三日に中日対巨人戦が新潟で行われます。ここで凱旋登板をしてくれると期待しています。昨年一月五日に母校同期の菜々美さんと婚姻届を出した笠原選手は、この激励会の六日後の十二月二十九日に結婚式を挙げました。家庭も充実し、益々の活躍を期待しています。同窓の皆さんの応援、宜しくお願いいたします。



秋葉区役所(当時の区長は私と同期「昭和五十年卒」の熊倉淳一さん)のご厚意で、笠原選手の手日本代表ユニフォーム(昨年の日米野球時)を一月から三月まで区役所ロビーに展示させていただきます。





○総会会場
ガーデンホテルマリ
エール

○懇親会
アトラクション出演者
・五泉木やり保存会
・歌手、なみあき
(五泉市出身)
・秋山バンドグループ
(新津市出身)

平成三十年六月十七日(日)の同窓会総会・懇親会「五泉大会」に参加いただき、主管支部メンバー共々、心より感謝申し上げます。

今大会につきましては会長はじめ、各支部長・同窓会員の皆様・本部署の先生方々より多大なる御協力を賜りました事に対して改めて厚く御礼申し上げます。

総会・懇親会参加者は

平成三十年度 同窓会総会・懇親会 五泉大会の御礼

五泉支部長 芹沢 一夫



御来賓、恩師、名誉会長、事務局の十八名、他、新潟支部、東蒲原支部、五泉支部、秋葉地区、県外(宮城県・神奈川県)等総数百十一名の参加をいただきました。

本年度は「新潟支部」での開催となります。会員各位の御協力をお願い申し上げます。

平成30年度 一般会計決算書

(自 平成30年4月1日 ~ 至 平成31年3月31日)

令和元年度 一般会計予算書(案)

(自 平成31年4月1日 ~ 至 令和2年3月31日)

I 収入の部 △:減 (単位:円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 繰越金	1,496,774	1,496,774	0	前年度繰越金
2 会費	819,000	807,000	△ 12,000	3,000円×269人
3 発行協力費	1,000,000	975,101	△ 24,899	
4 雑収入	0	10	10	利息
合計	3,315,774	3,278,885	△ 36,889	

I 収入の部 △:減 (単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 繰越金	1,776,411	1,496,774	279,637	前年度繰越金
2 会費	822,000	819,000	3,000	3,000円×274人
3 発行協力費	1,000,000	1,000,000	0	
4 雑収入	0	0	0	利息
合計	3,598,411	3,315,774	282,637	

II 支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 基本財産	200,000	200,000	0	基本財産へ繰入れ
2 会議費	400,000	273,420	△ 126,580	総会、運営委員会等
3 事業費	1,300,000	849,832	△ 450,168	
会報発行費	1,000,000	617,402	△ 382,598	
生徒激励費	100,000	46,000	△ 54,000	
記念品費	140,000	126,430	△ 13,570	入会記念品(269名)
支部助成費	60,000	60,000	0	6支部へ
4 事務費	200,000	47,686	△ 152,314	
通信費	60,000	25,806	△ 34,194	切手、葉書、送料
旅費	50,000	0	△ 50,000	旅費
慶弔費	40,000	10,000	△ 30,000	餞別、お見舞等
事務費	30,000	11,880	△ 18,120	事務用品、封筒他
雑費	20,000	0	△ 20,000	
5 予備費	1,015,774	0	△ 1,015,774	
6 秋陵会費	100,000	100,000	0	秋陵会助成
7 その他	100,000	31,536	△ 68,464	新入会員名簿
合計	3,315,774	1,502,474	△ 1,813,300	

II 支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 基本財産	200,000	200,000	0	基本財産へ繰入れ
2 会議費	400,000	400,000	0	総会、運営委員会等
3 事業費	1,300,000	1,300,000	0	
会報発行費	1,000,000	1,000,000	0	
生徒激励費	100,000	100,000	0	
記念品費	140,000	140,000	0	入会記念品(274名)
支部助成費	60,000	60,000	0	6支部へ
4 事務費	200,000	200,000	0	
通信費	60,000	60,000	0	切手、葉書、送料
旅費	50,000	50,000	0	旅費
慶弔費	40,000	40,000	0	餞別、お見舞等
事務費	30,000	30,000	0	事務用品、封筒他
雑費	20,000	20,000	0	
5 予備費	1,298,411	1,015,774	282,637	
6 秋陵会費	100,000	100,000	0	秋陵会助成
7 その他	100,000	100,000	0	
合計	3,598,411	3,315,774	282,637	

III 次年度への繰越金
3,278,885 - 1,502,474 = 1,776,411円

平成30年度 基本財産決算書

(自 平成30年4月1日 ~ 至 平成31年3月31日)

令和元年度 基本財産予算書(案)

(自 平成31年4月1日 ~ 至 令和2年3月31日)

I 収入の部 △:減 (単位:円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 繰越金	2,814,324	2,814,324	0	前年度より
2 会費	200,000	200,000	0	一般会計より
3 雑収入	0	24	24	預金利息
合計	3,014,324	3,014,348	24	

I 収入の部 △:減 (単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 繰越金	3,014,348	2,814,324	200,024	前年度より
2 会費	200,000	200,000	0	一般会計より
3 雑収入	0	0	0	
合計	3,214,348	3,014,324	200,024	

II 支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1 記念事業費	0	0	0	
2 雑費	0	0	0	
合計	0	0	0	

II 支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1 記念事業費	0	0	0	
2 雑費	0	0	0	
合計	0	0	0	

III 次年度への繰越金
3,014,348 - 0 = 3,014,348円

監査報告書

平成30年度新潟県立新津高等学校同窓会の決算について、関係帳簿、証拠書類等を精査したところ、この会計処理はいずれも適正であることを認めます。

平成31年4月11日

会計監査 青野 寛一  会計監査 坂爪 一郎 

協力金のお願い

新津高等学校同窓会は、新入会員の入会金とこの会報の発行協力金で運営、活動しております。

近年、学級数の減少(新入会員の減少)に加え、協力金も減少傾向にあり、同窓会の活動に影響が出てきそうな状況になってまいりました。事務活動の工夫節約では限界もあり、同窓会員のみなさまには、なにとぞ事情をご賢察いただき、同封の振込用紙で発行協力金をお納めいただきたくお願い申し上げます。お知り合いの方にもお声を掛け合って、ご協力いただければありがたいと存じます。

新潟県立新津高等学校同窓会事務局

同期・同窓の集い



平成62年3月卒業(高校39期)首都圏新年会
(平成31年1月19日 品川プリンスホテルにて)



昭和46年3月卒業「秋桜会」
(平成30年11月24日 割烹 おくまにて)



平成30年6月 同窓会五泉大会 五泉支部参加者
(ガーデンホテルマリエールにて)



訃報

心からご冥福を
お祈り申し上げます

本間 巖先生

勤務期間

昭和43年4月
～昭和61年4月

ご逝去

平成30年11月21日



県庁秋葉会
(平成31年2月15日 アートホテルにて)



高校第4回生併設中学2回生同期会
(平成30年8月31日 ガーデンホテルマリエールにて)

各支部連絡先

役職	氏名	卒業回数	郵便番号	住所	電話番号
新潟支部長	上田 茂樹	高18	950-2055	新潟県新潟市西区寺尾上3-4-19	025 260-3744
五泉支部長	芹澤 一夫	高17	959-1865	新潟県五泉市本町1-7-3	0250 42-0004
新発田支部長	井上 雅	高19	957-0054	新潟県新発田市本町4-5-7	0254 24-4547
東蒲原支部長	坂井 政博	高18	959-4606	新潟県東蒲原郡阿賀町五十沢2070	0254 99-2021

役職	氏名	卒業回数	郵便番号	住所	電話番号
村松支部長	安中 守	高31	959-1733	新潟県五泉市安出12-1	0250 58-8019
東京支部長	桂 佑誠	高15	190-0033	東京都立川市一番町2-31-21	042 531-1830
事務局 校内幹事			956-0832	新潟県新潟市秋葉区秋葉1-19-1 新津高校内	0250 22-1920(代)

連絡先

〒956-0832
新潟県新潟市秋葉区秋葉一十九一
新潟県立新津高等学校同窓会事務局
TEL 02550-2221-1920
FAX 02550-2244-6340
http://www.nitsuh.nein.ed.jp

事務局長より
昨年は、大雪で敷地の狭い新津高校では除雪した雪を捨てる場所がなく、トラックで運び出すくらいでした。それに比べると今年は暖冬で雪が少なく比較的過ぎやすい冬で、一月に運動部がグラウンドで練習できるほどでした。
さて、いよいよあと二年で新津高校も一〇〇周年を迎えます。戦中、戦後、高度経済成長、オイルショック、バブル経済、平成の不況など多くの出来事を新津高校の同窓生の皆様は乗り越え、様々な舞台で活躍されてきました。今度は、次の一〇〇年に向けて、未来の新津高校生が地域や世界で活躍できるように、伝統を大切にしつつ、新しい新津高校を創造していきたいと考えています。
新津高校同窓会では、一〇〇周年のイベントとして、同窓生の皆様の「思い出の一冊」を贈呈していただきたいと考えています。自分の人生を決めた一冊。自分を助けてくれた一冊など、エピソードを添えて送って頂きたいと考えています。
今後とも同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。

編集後記
平成から令和に変わり、新しい時代が始まりました。時代が変わっても母校秋葉山の桜は今年もきれいに咲いてくれました。二八四名の新入生を迎え、志田重道校長先生から渡辺剛校長先生に変わり、学校も時代と共に大きく変わっていくような気がいたします。平和で明るい安定した災害のない世の中になつて欲しいと願うのは同窓生の皆様方も同じことでしょう。
お陰さまで同窓会報四十五号を発行する事が出来ました。石川会長はじめ各支部長の皆様、記事写真を投稿して下さいました皆様方に厚く御礼申し上げます。志田重道校長先生は同窓生ということもあつてか、同窓会活動に対し格別のご尽力を下さいましたこと、深く感謝しております。全国各地に沢山おられる活動する同窓生の中から、今回も五名の方から投稿していただきました。居住地が変わっても新津高校時代の良き思い出、経験、感謝の気持ちがいしひしと伝わってまいります。
二年後の十一月六日に開催の新津高校創立一〇〇周年の準備も始まりました。詳細につきましては随時お知らせしてまいります。今後も引き続き母校の飛躍発展の為に支援助ご協力下さいますようお願いいたします。私もボーとして生きてチコちゃんに叱られないように気をつけていきます。
同窓生の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。
(編集長 川名一弘)